

# 平成 30 年度事業報告

社会福祉法人 太田福祉記念会

## 《 理念 》

- 一、私たちは、利用者の人権を尊び、安らぎと生きがいづくりに努めます。
- 一、私たちは、地域福祉の向上を目指し、保健・医療・福祉の連携をすすめます。
- 一、私たちは、常に専門職として、愛の心と技術の向上に努めます。

## 平成 30 年度事業報告の概要

理念「誓いの言葉」の実現に向けた戦略的重点項目

- ①職員の育成による質の高い介護サービスの提供
- ②地域福祉からのまちづくり参画
- ③計画的財務管理による健全経営の維持

社会福祉法が求める役割を担うべく、全職員が一致して取り組む戦略的重点事項を達成するため、当面必要な事業を計画的に実施した結果、目標を概ね達成することができた。

### 財務運営

- ・収入の確保 ①空床期間短縮化等による稼働率の維持 ②公的補助金活用など
- ・支出の削減 ①入札、見積り合わせの多用化 ②節電、節水等経費節減の徹底  
③省エネ機器導入による光熱水費の削減

### 新規事業

- ・特色ある事業所づくりの推進 各施設長が所属職員とともに策定作業に着手
- ・研修体制の充実 中核職員研修
- ・生活困窮世帯支援 生活困窮世帯の子どもへの学習支援の会場と昼食を提供  
NPO 法人と連携し 4 回開催

## [1] 平成 30 年度重点事業プラン

### 経営戦術基本方針

「地域貢献事業の企画・実施」

「福島県一質の高い介護サービスを提供しよう」

#### 1. 太田福祉記念会地域貢献事業

##### (1) 子ども朝ごはん提供事業

- ・PR チラシ配布 回覧板 2 回 3,005 枚、ポスティング 2 回 209 枚、学校 2 回 474 枚
- ・小中学生への朝食提供事業連絡会議 2 回開催

##### ★ (2) 生活困窮世帯の子どもを対象とした学習支援

- ・児童 延 28 名、NPO 職員 延 20 名、法人職員 延 12 名、提供食数 48 食
- ・支援体制強化のための職員訓練 5 回 延 10 名

##### (3) 地域密着支援事業

- ・除雪ボランティア（7 年目）参加職員 11 名 高齢者 5 世帯の除雪（湖南地区）

★=新規項目

## 2. きらきら人材育成事業

### (1) 基本研修

①新採用職員ガイダンス 受講者 8 名 平成 30 年 4 月 2 日

②新採用職員研修 (3 カ月間・6 回)

受講者 7 名 平成 30 年 4 月 18 日～7 月 4 日

★ ③中核職員研修 (受講者指名・8 回) 受講者 12 名 平成 30 年 9 月 12 日～12 月 26 日

### (2) 外部専門研修等派遣

職種別専門研修 (県内外) 年間 84 講座 延 143 名 (年間目標: 100 講座 延 150 名)

①介護福祉士実習指導者講習会 (郡山市) 1 名 平成 30 年 6 月 2 日～3 日、16 日～17 日

②施設長・事務長クラス集合研修 (郡山市) 1 名 平成 30 年 6 月 27 日、7 月 5 日、8 月 30 日

③介護事業所職員合同宿泊研修 (郡山市)

中堅職員対象 2 名 平成 30 年 7 月 12 日～13 日

看護職対象 1 名 平成 30 年 11 月 1 日～2 日

主任相当職対象 2 名 平成 31 年 2 月 7 日～8 日 ※介護職と看護職の連携実践発表

④福島県認知症介護実践者研修 (郡山市) 1 名

平成 30 年 8 月 20 日～22 日、27 日～28 日、10 月 1 日

⑤高齢者虐待対応研修 (福島市) 1 名 平成 30 年 8 月 29 日

⑥働き方改革アドバイザー養成研修 (郡山市) 1 名

平成 30 年 9 月 5 日、10 月 3 日、11 月 9 日、12 月 5 日

⑦高齢者施設における虐待防止研修 (郡山市) 1 名 平成 30 年 9 月 20 日

⑧福島県身体拘束廃止推進セミナー (郡山市) 3 名 平成 30 年 11 月 21 日

⑨福島県認知症対応型サービス事業管理者研修 (二本松市) 1 名 平成 31 年 2 月 21 日～22 日

## [2] 本部事業

### 1. 法人運営の安定化

#### (1) 法人創立 40 周年事業

①実行委員会を設置 計画どおり実施 (総事業費 6,391 千円)

- ・記念式典・記念講演 平成 30 年 10 月 11 日 郡山ビューホテルアネックス 227 名参加
- ・初代及び第二代理事長胸像建立 平成 30 年 10 月 2 日 玉川ホーム玄関ホール
- ・記念誌発行 平成 31 年 3 月 1 日 650 部

②玉川ホーム中央棟改修工事 計画どおり竣工 (総事業費 516,232 千円)

③新ユニホーム供用開始

④法人マークの規定化及び会旗製作、看板書き換え、法人車輛への表示等

#### (2) 経費節減

①指名競争入札による実績 19.2%節減 金額 24,179 千円 (目標: 予算計上額の 3%減)

②事業消耗品等購入費の節減 ▲6.5% ▲791 千円 ・修繕費用 ▲6.2% ▲533 千円

③全施設電力消費量 前年度比 ▲8.2% (電気料金は単価増により+0.2%)

※東日本大震災発生後の平成 23 年度比▲14.0%、発生前の平成 22 年度比▲20.9%

※あたまホームは 24 時間ボイラーを整備し、冬期間電力消費量は前年度比▲36.1%▲1,078 千円

④全施設水道消費量 前年度比 ▲7.7% (3,024 m<sup>3</sup>節減)

### (3) 公的助成制度の導入

- ・福島県 地域医療介護総合確保基金事業補助金 500,000 円
- ・郡山市 ケアハウス事務費補助金 24,341,000 円  
結核予防事業費補助金 344,000 円
- ・福島労働局 特定求職者雇用開発助成金 500,000 円
- ・独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 障害者雇用調整金 324,000 円

### (4) 中・長期経営計画の研究・策定

- ・10年先を見据えた長期経営計画の研究・策定作業に着手、継続中。

## 2. 有能人材の確保・育成

○職員採用 正規職員採用実績 14 名（介護員 5 名、看護師 3 名、栄養士 1 名、調理員 5 名）

#### ①参加行事等

- ・教育機関個別訪問（2 校） ・福祉の職場合同就職説明会参加（1 回）
- ・介護労働安定センター実務者研修修了者就職説明会参加（1 回）

#### ②募集広報

- ・正職員採用試験を計画どおり実施。（年 2 回）
- ・ハローワーク ・求人広告掲載 14 件（広告料 1,020,028 円）
- ・ホームページ掲載 ・職員へ人材紹介の協力要請  
介護職（正職員）の離職率 2.75%（前年度 4.42%） ※全国平均 16.2%

## [3] 特別養護老人ホーム

### 1. 利用者に質の高い介護サービスを提供

#### ★（1）特別対策事業

##### ①虐待から利用者を守る施設づくり

- ・虐待予防研修会 4 回開催（うち 2 回は外部講師） 延 65 名参加
- ・身体拘束廃止人数 玉川ホーム 14 名中 9 名 あたみホーム 8 名中 2 名

##### ②褥瘡の発生予防と早期対応

- ・褥瘡予防勉強会 3 回開催（外部講師） 延 17 名参加

#### （2）食事の経口摂取維持への支援

- ・経口維持加算算定 玉川ホーム 33 名（目標 30 名）加算額合計 1,236,000 円  
あたみホーム 68 名（目標 50 名）加算額合計 2,604,000 円

- ★ ・嚥下パス入院の実施に向け、太田熱海病院との連携体制を整備した。

#### （3）看取り介護体制の充実（玉川ホーム・南棟）

- ・看取り介護実施人数 1 名 ・看取り介護実施意向確認 3 家族が希望

#### （4）個別機能回復訓練の充実（あたみホーム）

- ・ショートステイ個別機能訓練加算算定 48 名 加算額合計 921,760 円  
（前年度 44 名 703,360 円）

#### ★（5）感染症対策強化（玉川ホーム）

- ・太田熱海病院感染対策室による巡回指導 7 回

## 2. 健全な財務体制の確保と業務効率化の促進

事業所名	長期入所者数(稼働率) ※下段は30年度計画値	短期入所者数(稼働率)	※下段は30年度計画値	
			介護	介護予防
玉川ホーム 【定員 長期170名 短期20名】	163.6名/日(96.2%)	11.7名/(58.5%)	11.6名/日	0.1名/日
	163.5名/日(96.1%)	10.8名/日(54.0%)	10.7名/日	0.1名/日
あたみホーム 【定員 長期100名 短期21名】	93.8名/日(93.8%)	17.8名/(84.7%)	17.2名/日	0.6名/日
	94.3名/日(94.3%)	17.6名/日(83.8%)	17.2名/日	0.4名/日

### (1) 空床期間の短縮化(共通)

- ・玉川ホーム、あたみホーム合同入所検討委員会開催4回(前年度4回)
- ・ベッド空床期間平均  
玉川ホーム12.0日(前年度3.0日) あたみホーム10.8日(前年度6.8日)
- ・緊急のショートステイ受入 玉川ホーム0名、あたみホーム2名

### (2) 玉川・あたみ両ホームが連携した入所受入れ

- ・改修工事期間中、玉川ホームショートステイ利用希望者をあたみホームで優先受入れ実施  
9名 延748日

### (3) 効率的な業務及び職員配置の研究(共通)

- ・両ホーム合同病院等送迎実施回数2回(前年度4回)
- ・両ホーム合同ショートステイ送迎実施回数13回(前年度0回)
- ・育児休業を取得した職員 玉川ホーム2名、あたみホーム6名(出産した全員が取得)
- ・介護休業を取得した職員 玉川ホーム1名
- ・育児短時間勤務制度を利用した職員 玉川ホーム3名 あたみホーム3名
- ・育児のため深夜勤業務を制限した職員 玉川ホーム2名

## 3. 職員の育成

### (1) 新採用職員教育の充実

- ・新採用職員に教育担当職員各2名を配置、実施(玉川ホーム1名、あたみホーム1名)

### (2) 内部研修会の充実(共通)

開催年月日	講義内容	講師	参加者
平成30年 5月31日	食中毒予防	丹野明子様(郡山市保健所生活衛生課主査)	45名
8月22日 8月29日	身体拘束廃止	関根誠一様(福島県介護福祉士会)	30名
8月24日 9月28日 11月16日	褥瘡予防	折笠朋子様(太田熱海病理学療法科主任)	17名
11月26日	感染症予防	鈴木利光様(太田熱海病院看護師)	71名

### (3) 痰の吸引等の研修(共通)

福島県喀痰吸引等実地研修

玉川ホーム6名、あたみホーム2名(平成31年1月17日~平成31年3月30日)

※福島県から委託を受け、介護職員等による痰の吸引等のための研修事業を実施。

## [4] ケアハウス

### 1. 稼働率の向上

事業所名	入居者数（稼働率） ※下段は30年度計画値	1人部屋（稼働率） 【28室】	2人部屋（稼働率） 【1室】
		グリーンライフ小磯 【定員30名】	27.3名/日（91.0%） 27.0名/日（90.0%）

#### （1）新規入所者の確保及び施設のPR

- ・地域包括支援センター等からの照会件数6件 うち入居3件（前年度8件うち入居2件）
- ・新規入居者数7名、退居者数6名（前年度新規入居者数3名、退居者数7名）
- ・市内地域包括支援センター訪問PR活動を予定どおり実施17カ所（目標17カ所以上）

#### （2）介護予防の推進

- ・運動器訓練等を行う元気クラブ 年180回 1回平均16名 年間延2,970名
- ・入居者の希望を取り入れた外出行事を実施 ドライブ8回 延505名

### 2. 入居者の生活環境改善

（1）入居者同士懇談会開催 実績3回（目標年2回以上）

（2）サービス担当者会議 計画どおり開催 31回（入居者1人あたり1回）

## [5] 在宅の介護・支援サービス

### I. デイサービス

#### 1. 利用者の自立を支援する質の高い介護サービスを提供

##### （1）自立支援を意識した取り組み（太田デイサービス）

- ・希望者への朝食提供 実利用者7名 延709食
- ★ 踊りや歌の発表会等交流の場の設定・提供 年16回
- ・要支援者の機能回復訓練 計画どおり実施 延1,440名
- ・クラブ活動 計画どおり実施

実施活動	年間実施数	実施活動	年間実施数
さをり織り	25回	大正琴	24回
壁画・カレンダー作り	2回	カラオケ	15回
ゲーム	180回	音楽会	17回
リラクゼーションヨガ	6回	囲碁・将棋	40回

##### （2）自立支援と認知症進行防止の取り組み（太田玉川デイサービス）

- ・取り組みをとおして改善傾向が見られた利用者93名中12名（前年度88名中10名）

巧緻性の向上を目的とした活動		生活機能維持向上を目指した機能回復訓練	
実施活動	年間実施数	実施活動	年間実施数
張り絵の制作（十二支作り）	155回	上下肢及び口腔体操（集団）	257回
おやつ作り	20回	レクリエーション活動	197回
季節の飾り作り	7回	要支援者の機能回復訓練	延839名

(3) 自立支援と認知症進行防止の取り組み（太田小磯デイサービス）

- ・個別機能回復訓練により要介護（支援）度が維持された利用者 50 名中 32 名（前年度 61 名中 56 名）
- ・音楽レクリエーション活動（歌う・笑う・考える）による認知機能の低下防止 年 256 回 実利用者 50 名

2. 健全な財務体制の確保

事業所名	営業日数	利用者数	※下段は 30 年度計画値			実利用者数	
			介護	介護予防	認知症	うち新規	
太田デイサービスセンター 【定員 30 名】	308 日	24.1 名/日 24.0 名/日	19.3 名/日 19.3 名/日	4.8 名/日 4.7 名/日	-	94 名	27 名
太田玉川デイサービスセンター 【定員 32 名】	256 日	24.9 名/日 25.1 名/日	15.9 名/日 16.0 名/日	2.8 名/日 2.8 名/日	6.2 名/日 6.3 名/日	93 名	32 名
太田小磯デイサービスセンター 【定員 18 名】	256 日	16.6 名/日 16.3 名/日	13.4 名/日 13.9 名/日	3.2 名/日 2.4 名/日	-	57 名	8 名

II. ホームヘルプサービス

○サービス水準の維持と財務改善

(1) サービス水準の維持

- ・訪問介護計画書作成人数 56 名（前年度 16 名）

(2) 財務状況の改善

事業所名	利用者数	※下段は 30 年度計画値				実利用者数	
		熱海		小磯分室		うち新規	
		介護	介護予防	介護	介護予防		
太田訪問介護事業所	11.3 名/日 11.2 名/日	7.9 名/日 7.9 名/日	3.3 名/日 3.2 名/日	0.1 名/日 0.1 名/日	0 名/日 0 名/日	47 名	17 名

- ・市内居宅介護支援事業所等定期訪問 PR 活動を予定どおり実施 新規利用者 8 名

III. 居宅介護支援サービス

○質の高いケアプラン作成と収支バランスのとれた財務体制の維持

(1) 質の高いケアプランの作成

- ・医療・福祉の安定したサービス計画作成 296 件（前年度 287 件）
- ・退院調整によるサービス計画作成 31 件（前年度 19 件）
- ・認定調査員研修等講座 延 5 名派遣（目標延 4 名）

(2) 収支バランスのとれた財務体制を維持

事業所名	利用者数
------	------

太田指定居宅介護支援事業所	138.8名/月（目標 139.2名/月）
---------------	-----------------------

- ・退院退所加算 18件 加算額合計 85,500円（前年度 17件 51,000円）
- ・入院時情報連携加算 53件 加算額合計 90,000円（前年度 53件 95,000円）
- ・ターミナルケアマネジメント加算 1件 加算額合計 4,000円（前年度 0件）
- ・小規模多機能型連携加算 1件 加算額合計 4,000円（前年度 0件）
- ・郡山市等から依頼された介護認定調査 78件 委託料合計 302,076円  
（前年度 38件 委託料合計 146,957円）

#### IV. 地域包括支援センター

##### 1. 地域に根ざした包括的なサービスを提供

###### (1) 地域包括ケアシステムへの対応

- ・湖南町の地域ケア会議 実績 6回（個別ケア会議 4回、圏域会議 2回・目標年 3回以上）

###### (2) 地域高齢者の介護予防推進

- ①地域介護予防教室（湖南地区行政センター保健師、湖南地区社会福祉協議会と連携。）

実績 11地区 参加者 294名（前年度 247名）

地区名	開催年月日	参加者	地区名	開催年月日	参加者
浜路	平成30年11月29日	9名	福良	平成30年12月3日	9名
舘	平成30年8月21日	13名	〃	平成30年12月10日	9名
〃	平成30年11月21日	14名	〃	平成30年12月17日	13名
〃	平成31年1月22日	12名	〃	平成31年1月15日	7名
舟津	平成30年11月22日	13名	東岐	平成30年12月6日	8名
〃	平成31年2月7日	20名	赤津秋山	平成30年6月26日	8名
中野	平成30年11月5日	21名	〃	平成30年11月6日	18名
安佐野	平成30年12月18日	9名	赤津	平成30年11月9日	10名
三代	平成30年10月24日	19名	〃	平成30年12月21日	28名
中ノ入	平成30年11月27日	8名	〃	平成31年1月21日	18名
〃	平成31年1月17日	7名	〃	平成31年2月21日	6名
福良	平成30年10月22日	10名	〃	平成31年3月12日	5名

###### ②認知症サポーター養成講座の開催

- ・平成31年3月7日 三代地区の地域団体「若葉会」18名

###### ③地域住民による自主的介護予防事業モデル地区の活動支援

モデル地区名：横沢地区 実績 5回 参加者 57名（前年度 7回 参加者 81名）

支援内容：いきいき100歳体操、玄米ダンベルニギニギ体操、脳トレーニング、茶話会

開催年月日	参加者	特記事項
平成30年6月5日	16名	湖南地区社会福祉協議会のバスで買い物ツアー
平成30年8月30日	15名	湖南地区社会福祉協議会のバスで買い物ツアー
平成30年10月23日	11名	そば道場、健康講話

平成31年1月8日	8名	新年会
平成31年3月5日	7名	歌にあわせて手遊び

(3) 若い世代への福祉教育 実績 2回

- 平成30年9月25日 高齢者の疑似体験 郡山市立湖南小学校6年生 15名
- 平成30年10月30日 認知症サポーター養成講座 郡山市立湖南中学校2年生 20名

○郡山市委託事業協力 実績 1回

- 平成30年6月21日 高齢者疑似体験スタッフとして参加（大槻小学校）

(4) 小磯カフェ「まざっせ」の開催 実績 10回 参加者 150名（目標 10回）

- 認知症のある方やご家族、地域の方など誰でも参加でき、和やかになんでも話せる息抜きの場、情報交換の場として平成28年5月から開催。これまで延べ398名が利用。

開催年月日	参加者	ミニ講座演題（講師）	ボランティア
平成30年 5月19日	13名	「認知症を知ろう」（湖南地区地域包括支援センター主任介護支援専門員 古宮広隆）	2名
6月16日	17名	「民話でめぐる湖南町」湖南町の民話の紹介（湖南民話の会 代表 佐藤加津子様）	2名
7月21日	17名	「お薬のおはなし」（郡山市薬剤師会 会長 志岐由利子様）	2名
8月18日	11名	「安心して出かけよう!! ～軽失禁パットを選ぶ3つのポイント～」（同仁社福祉用具専門相談員 濱田有里紗様）	2名
10月20日	13名	「食べて・動いて・元気よく!!」（太田福祉記念会 理事長 太田宏）	2名
11月17日	11名	「みんなで考えよう、感染症防止!!」（湖南地区高齢者安心センター 看護師 安部美貴子）	2名
12月15日	7名	「からだを動かして認知症予防!」簡単体操の紹介（あたまホーム 副主任機能訓練指導員 横堀克佳）	2名
平成31年 1月19日	13名	「認知症にならないために!!」（あたまホーム 園長 山崎雅人）	2名
2月16日	22名	「消費者相談最前線! 本当にあったこわ~いトラブル」（郡山市消費生活センター橋本史絵様）	2名
3月16日	26名	「腰痛と枕の関係」（郡山健康科学専門学校 荒木芳一様）	2名

2. 健全な財務体制の確保

事業所名	利用者数
湖南地区地域包括支援センター （湖南地区介護予防支援事業所）	90.1名/月（目標 91.0名/月）